

広報 すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

9/15
令和6年(2024年)
No.2386

日本伝統の所作で
心も体も美しく。

5歳で日本舞踊を始めた若和屋帆之丞さん。舞踊、歌舞伎に留まらず商業演劇やテレビ時代劇、ドラマの所作監修までジャンルを超えて活躍する帆之丞さんに幼少期やこれまでの俳優人生、そして講師を務める杉並こども歌舞伎塾の魅力や塾を通じて子どもたちに感じ取ってもらいたいことなどを伺いました。



特集



すぎなみピト

俳優（杉並こども歌舞伎塾講師）
若和屋帆之丞

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課



「広報すぎなみ」は月2回（1・15日）発行。新聞折り込みでの配布のほか、区施設・区内各駅などの広報スタンドに置いています。入手が困難な方には個別配布をしています。ご希望の方は、電話・ファクス・Eメール・LoGoフォームからお申し込みください。

詳細は、区ホームページ（右2次元コード）をご覧ください。





すぎなみビト



interview

若和屋帆之壺

俳優

(杉並こども歌舞伎塾講師)

プロフィール：若和屋帆之壺（わかとや・はんのじょう） 昭和39年千葉県生まれ。俳優・舞師・振付師・立師。47年に初舞台、50年に帆之壺を襲名。昭和57年5代目坂東八十助に師事。若和屋初代宗家家元。さまざまな商業演劇で活躍、近年では歌舞伎フォーラム公演や小劇場の舞台にも積極的に出演。千葉県こども歌舞伎アカデミー講師、東京夫人歌舞伎塾講師のほか、講師も多数務める。ドラマ『SHOGUN 将軍』では日本人所作動作総監修を務め、世界的にも注目されている。

伝統芸能の心と技を、子どもたちの生きる力に



きっかけはお遊戯会。でも夢はプロ野球選手だった少年時代

「俳優の道へ進むきっかけとなった出来事を教えてください。幼稚園のお遊戯会で「おもちゃの兵隊」を踊っていた姿が古典芸能関係者の目に止まり、スカウトされたのがこの世界に入るきっかけです。5歳で入門、8歳で初舞台を踏み、人気が出て、10歳で帆之壺を襲名しました。男の子が日本舞踊をやっているということで友達にからかわれることもありましたが、三味線の音や着物を着ることが好きだったし、なにより初舞台のときに、お客さんが私の踊りで涙しているのを見たときに「もしかしたらこの世界で生きていくのかな」と思いました。



▲8歳のときの初舞台の様子（左）

「それからは踊り一筋だったのですか？」

実は小さい頃の夢はプロ野球選手だったんです。小学校から高校までずっと野球部でした。中学2年生のときに、師匠から「女形は、野球をやるより首や腕が太くなるからやってはダメ」と言われましたが「どうしてもやりたい！」と直訴。そうしたら「じゃあ高校3年まではやってもいい。でもお稽古だけは通って」と請われ、朝練・授業・夜までの練習、それが終わったら稽古、また朝4時半に起きて…という日々を5年間続けました。高校2年の秋からエースピッチャーになり、プロのスカウトにも誘われましたが、自分の実力では2・3年が限度と分かっていたので俳優の道へと進みました。この5年間で根性が鍛えられましたね。この両立があったから今の自分があると確信しています。

「俳優の道一本で歩きだしてからは？」

野球はやりきったので、芸能の世界に戻ろうと日本大学芸術学部演劇学科に進学しました。周りの人たちは私のことを天才と言っていましたけれども、教授には「君は踊りは素晴らしいが専門的知識が乏しい。大学4年間でしっかりと身に付けなさい」と諭され、そこから猛勉強。歌舞伎役者の五代目坂東八十助（のちの十代目三津五郎・故人）さんや大学の先輩である真田広之さんと出会ったのもこの頃です。八十助さんには「歌舞伎の世界に来ないか」と誘われましたが、今の歌舞伎界は世襲制のため大きな役にはつけないと思ひ、卒業後は商業演劇の世界に入りました。すぐに朝丘雪路さんの相手役に抜擢され、その後も杉村春子さんの相手役を務めたり、舞台・テレビなどの時代劇に出演したり、歌舞伎フォーラム公演・小劇場公演にも多数、出演してきました。最近ではドラマ『SHOGUN 将軍』の日本人所作動作総監修を務めるなど、活動の幅がさらに広がってきているのが嬉しいですね。



杉並のまちは忙しい私の毎日に癒やしを与えてくれます

「杉並に住むようになったきっかけは？」

以前、住んでいたところで泥棒や空き巣が続いたことがありました。その当時、ある女優さんから「俳優がそんな治安の悪いところに住んでいたらダメよ！」と言われて、探して決めてきたのが現在の家なんです。家賃は高くなりましたが、住んでみると過ごしやすしい、便利だし、緑も多くてよくなった。稽古に疲れてリフレッシュしたくなったら近所を散歩したり、井の頭公園までは往復10kmの距離なので良いトレーニングコースとして体作りにも役立っています。



「区内にこども歌舞伎塾を作りたいと思った理由は？」

千葉県などでいくつかのこども歌舞伎に関わっていたのですが、東京に公的なこども歌舞伎がないことを残念に思っていました。25年ほど前に杉並区に引っ越してきたときからずっとやりたいと思っていました。周りの人とそんな話をする中、歌舞伎の動きが実はスポーツにつながるという話を面白く思ってもらえたようで、昨年度、杉並区スポーツ振興財団主催で杉並こども歌舞伎塾が誕生することになりました。

伝統文化を後世に伝える。子どもたちの未来のために

「杉並こども歌舞伎塾の講座内容を教えてください。」

計12回のお稽古の中で、七五調の美しい日本語や着物の着付け体験、挨拶から立ち居振る舞い、歌舞伎の歴史まで、日本文化のさまざまな面を学べる講座です。終了後には全員で歌舞伎を演じる発表会も行われます。昨年は「白浪五人男一稲瀬川勢揃いの場」を演じました。美しい日本語・所作を知らない人が多くなった昨今、大人になってからはなかなか身に付けることは難しいですが、子どもたちは1回でひゅつとやってしまう。日本の伝統文化を後世に伝えていくのも、私たち大人の役割だと思います。

「伝統文化に触れること以外のメリットはどんなものがありますか？」

日本文化特有の立ち座りなどの所作は、実は体の深い部分に付いている筋肉であるインナーマッスルの強化にもつながる大事な動きなんです。インナーマッスルが強化されれば姿勢も良くなるし、怪我もしにくくなる。姿勢が良くなることで視線が高くなれば相手の目を見て話すことにつながり、より良いコミュニケーションも取れるようになる。そういう一つの所作・動作・正しい姿勢を身に付けることが成長していく子どもたちにとって大事なことだと思ひ取り組んでいます。



「杉並こども歌舞伎塾を経て感じた子どもたちの変化は？」

始めはもじもじしていた子どもたちが、終わる頃には本気になり、本番が一番上手だったのが印象的でした。終了後のアンケートで「楽しかった」とか、「姿勢が良くなったと褒められた」「落ち着いたね、明るくなったねと友達に言われた」という声を聞くと、やって良かったな、私たちが伝えたいことを子どもたちも感じ取ってくれたんだなととても頼もしく感じました。前回は初めての講座ということもあり塾生が5人だったため、保護者の皆さんにも舞台に立っていただきましたが、お母さんが恥ずかしがっていると「ママ、ちゃんとやって！」と子どもから声がかかるんです。

親子で一つのことを真剣に取り組む。それが親子の触れ合いや家族団らんにもつながってくれたら嬉しいですね。

「塾生たちにどう成長してもらいたいのですか？」

これまで関わってきたこども歌舞伎塾から実際に歌舞伎役者になった人たちも出ています。それも嬉しいことですが、もちろん歌舞伎以外の道に進んでもここで得たものは生きていく上で絶対に役に立つものだと思っているので、より多くの人に伝統文化の豊かさを感じ取ってもらえるよう私も精進を重ねていきます。

「杉並こども歌舞伎塾を今後、どのように発展させていきたいですか？」

杉並こども歌舞伎塾はまだ始まったばかりですが、いつかは本物の大道具・小道具、衣裳、かつらを使って開催できるくらいまで一步一步進んでいけたらと思います。塾生の数も10人、20人と増えていけばもっといろいろな演目もでき、また違う和の表現もできるようになるので、まずは皆さんに知ってもらえることが大切だと思っています。

「最後に子どもたちへのメッセージをお願いします。」

歌舞伎と聞くと敷居が高いもの、堅苦しいものと思われがちですが、本当は面白い、見ても演じて楽しいものだと知ってもらいたいです。少しでも興味を持ったら一度、来てみてください。やってみて楽しかったら「楽しかったよ！一緒にやろうよ」って友達を誘って、だんだんと輪が広がっていったらいいですね。ご参加、お待ちしております。

地域に愛される、こども歌舞伎！

杉並こども歌舞伎塾の参加者募集

歌舞伎を通して、立ち居振る舞いや礼儀作法を身に付け、七五調の美しい日本語や着物の着付け体験などで、日本文化を肌で感じましょう！

10月12日～7年1月18日の土曜日、午後6時～8時30分（12月28日、7年1月4日、祝日を除く。計12回） 西高校（宮前4-21-32） 若和屋帆之壺 区内在住・在学の小学3年生～高校生 20名（申込順） 6000円 杉並区スポーツ振興財団ホームページ（右2次元コード）から、9月25日までに申し込み 杉並区スポーツ振興財団 ☎5305-6161 浴衣着用。7年1月25日(出)に発表会あり。詳細は、同財団ホームページ参照

YouTubeで配信中!

すぎなみビト MOVIE

すぎなみビト「若和屋帆之壺さん」のインタビュー動画を、右2次元コードからご覧いただけます。

杉並区公式チャンネル